

- 議 長 休憩を解いて再開いたします。 (10時40分)
- 引き続き一般質問を行います。受付番号第2号、平野由里子君の一般質問を許します。登壇願います。
- 1 番 平 野 議長のお許しを得ましたので、質問させていただきます。受付番号第2号、質問議員、第1番 平野由里子。件名、さまざまな住民活動の活性化のために。
- 要旨、町民のいきいきとした暮らしのため、また、協働のまちづくりのためにも、自治会活動を初めとする住民活動の充実が求められます。そこで、次のことをお尋ねします。
- (1) 自治会活動の担い手の先細りが予想されますが、町として対策をしていますか。
- (2) 町のホームページで、町外からの転入者のために自治会の情報をどのように発信していますか。
- (3) つながり合って人を育て、地域にかかわっている点において、さまざまな住民活動の役割も大きいですが、各種ボランティア団体、スポーツ・文化団体、PTA、道祖神などの情報をわかりやすく提供できませんか。
- 以上よろしく申し上げます。
- 町 長 それでは平野議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。
- まず1点目についてお答えをさせていただきます。現代社会におきまして少子高齢化と言われる中、自治会の機能を強化することは、行政としても自治会との協働ということでは、その役割も重要であるというふうに思っております。その中で、高齢化や子供の減少などの要因により、自治会長様ともお話しさせていただいてる中で、現在60歳で定年退職を迎え、再就職により70歳ぐらいまで働く方がふえ、自治会役員を受けられないケースが少しずつふえているというふうにも聞いております。これは自治会の大小にかかわらず、どの自治会にも該当する課題の一つであるというふうに思っております。また、自治会長様におきましては、町とのパイプ役として行政協力委員としての役割を担っていただいております、さまざまな会議への出席や町事業プロジェクト等への参画などをお願いするなど、確かに御負担もふえており、本当に皆さん方には申しわけないと思う部分と、本当にそれにも増して感謝を申し上げたいというふうに思

っております。このような状況の中において、自治会長の皆さん方におけるさまざまな役割が多忙という状況もあり、なかなか役員の担い手が見つからないといったことは、各自治会に言えることをございまして、将来的にも危惧されているところというふうに思っております。

そのような中、町といたしましても、年間を通して行われます自治会長連絡協議会、行政協力委員会議のほか、自治会長連絡協議会でのさまざまな問題、課題を、自治会長と行政側とが共有する会議といたしまして、三役の皆様方との調整会議を平成24年度から実施しているところでもあります。その中では、先ほど申し上げました役員のなり手不足の問題や、自治会全体としての改善要望などを相互に共有し、認識をしながら解決策を協議しているところでもあります。

具体の1つには、平成26年度より地域コミュニティ活動の一助となるよう、地域コミュニティ活動交付金助成事業といたしまして、各自治会が自主的に開催するイベント等に社会参加の機会をふやしていただき、若い方々との交流を図っていただくことで、地域とのつながりから将来の役員さんの確保につなげていただけるとありがたいも思っております。また、若い世代の方に自治会活動に参加していただけるよう、自治会の役割や、地域が潤うことの大切さを、自治会長の皆様方とともにお声をかけさせていただき、若い方々に働きかけを行ってまいりたいというふうにも考えております。そして、若い世代が積極的に役員として参加できる組織づくりに取り組んでまいりたいも考えております。今後も、自治会の皆様方が抱えていらっしゃる問題点や課題を相互に共有しながら、自治会の中でも議論をしていただき、自治会全体として、そしてまた町全体として解決できるよう話し合いの場を設けてまいります。

次に2つ目の、町ホームページで転入者に対するということの質問にお答えをさせていただきます。平成28年1月から、町ホームページで各自治会の紹介をさせていただいているところしておりますが、議員の御指摘のとおり、まさに定住を掲げる松田町といたしまして、自治会の具体的な活動の情報発信についてしっかり取り組んでいかなきゃいけないというふうにも考えております。先ほど回答させていただいたとおり、若い方々の自治会参加が、これからの自治

会活動に不可欠であります。自治会活動の次の時代を担う若い方々との世代間交流など、町としてどのような支援ができるか、早速自治会三役との調整会議に諮り、交流事業やホームページ上の自治会活動の紹介記事など協議し、取りまとめ次第情報提供させていただきたいというふうにも考えております。現在のホームページ上の紹介記事では、各自治会の概要のみ紹介しているだけで、実際に転入された方が、自治会は何をするところなのか、どこへ行けば活動が見られるのか、自治会に加入したいが誰に声をかければいいのか、会費は幾らなのかなどなど、ワンストップで紹介ができるよう、自治会長の皆さん方と調整を図ってまいりたいというふうにも考えております。

3つ目の御質問につきましては、教育委員会に係る分野でございますので、教育長から回答させていただきます。よろしく申し上げます。

教 育 長 3点目の御質問にお答えをさせていただきます。平野議員御指摘のとおり、人と人とのつながり、町民の生きがいや健康寿命を支える上で、町内の各種団体の活動や取り組みが果たす役割は、大変大きいものがあるというふうに認識いたしております。日ごろの活動を支援し、活動の輪を広げる上でも、適切でわかりやすい情報の提供は欠かせないと考えております。まずは現在の取り組みについて御紹介させていただきます。

スポーツに関する情報ですが、スポーツ団体につきましてはその活動を紹介する場として、チャレンジデー、あるいはスポレク祭等における体験会を実施しておりますし、また各種親睦スポーツ大会等の実施について、広報誌や、あるいは全戸配布のチラシ等により活動を御案内させていただいております。さらには、体育協会さんでは体育協会だよりを発行する中で、加入のスポーツ団体の活動を紹介させていただいております。また、文化団体につきましては、町文化祭に発表の場を設けるとともに、新たな参加を促す意味で、各団体の活動の紹介やチラシの発行など、積極的に公開してきております。そのほか町広報誌や町ホームページでの情報提供もさせていただいております。

また、PTA活動につきましては、学校行事への参加、登下校の見守り活動、あるいはバザーや資源回収活動、広報誌の編集・発行などの活動を、PTA広報やあるいは学校だより等で紹介をしております。

また、道祖神など地域の活動につきましては、広報誌「学びの広場」において、自治会活動の紹介として、サークル活動や地域で行われている行事などの情報提供もさせていただいております。こうした各種活動については、町広報誌あるいは町ホームページ等を通じて、今後も適宜情報提供してまいります。

一方、これまで地域活動を支えてきていただいた子ども会ですけれども、減少の問題に歯どめがかからない状況もございます。子ども会組織及び子ども会会員減少問題は、少子化に加えまして、共働き家庭の増加や、役員の担い手不足、各種スポーツ活動や習い事など、その要因は多岐にわたっております。このような現状から、町と町子連で今後の子ども会について現状を再確認するとともに、意見交換をさせていただいております。この意見交換では、町子連の各役員の意見や考え方がさまざまであったために、今後も引き続き話し合いを持つこととしております。

また、自治会によっては自治会組織に子ども会を置き、自治会全体で子供の育成活動の支援を行うということで組織を維持しているところもございます。子供の減少と役員のなり手がいないといった課題にどう対応したらよいか、これまでの枠にとらわれない幅広い連携や、あるいは世代を超えた支援も視野に、町子連や自治会とも協議をしていきたいと考えております。

また、平成26年10月15日から、町民文化センターに生涯学習サポートセンターを設置させていただいております。このサポートセンターでは、町民文化センターを活動拠点とし、町教育委員会を事務局として、生涯学習に関する相談に応じ、団体の紹介やあるいは情報の収集、発信をしております。

また、平成22年度に発行しました生涯学習の手引書「はじめの一步」では、各種ボランティア団体、スポーツ・文化団体などをまとめて紹介しております。この手引書は、町内の各施設、町で活動してる各種団体、町の民話や伝統行事などの情報をまとめた手引書です。それぞれが自分に合った活動の場を探す際や、あるいは各施設の活動や行事など、町をより深く知りたいと考えているときにこの手引書を活用していただいております。

今後については、他市町の情報提供の取り組みを参考にしながら、町内の各団体との調整を図りながら、町民の方々の団体活動等への積極的な参加や、あ

るいは町外からの定住促進につながるためにも、手引書の活用、あるいは見直しを含め、わかりやすい魅力ある情報提供に努めてまいります。以上です。

1 番 平 野 ありがとうございます。少し確認をさせていただきたいんですけども、大体の大まかな現状とかはわかったんですが、ちょっと数字を確認させていただきたいのは、現在の自治会の加入率や、その増減の傾向などがわかりましたら、ちょっと教えてください。

総 務 課 長 自治会の加入率の件でございます。特に公表はしておりませんが、総務課内のほうで内部資料として押さえている数字でございますが、一応国勢調査の人口で加入率を算出しております。それで見ますと、松田地区につきましては平成29年95.2%、寄地区で91.7%、町全体で見ますと94.6%の加入率となっております。過去3年ぐらいをさかのぼってみますとですね、おおむね、何ですか、平行しているといいますか、それほどふえたり減ったりはしていないということですが、ちなみに平成26年度で見ますと、全体で95.3%ございました。27年度が96.1%、平成28年度が95.3%、29年度が先ほど申しました94.6%ということですので、若干は下がっておりますけれども、90%を超えるところで推移してございます。

1 番 平 野 はい、ありがとうございます。すごく…すごい問題になるほどの減り方ではないなというところは、ちょっと安心しました。この加入率はそれで安心とはいえ、やはり役員を決める季節になると、どこの自治会もかなり御苦労されているように思います。やはりそれは先ほどおっしゃっていた少子化、それから高齢化で再就職などなされることもあって、担い手が不足してしまうというね、それは理解できるんですけども、その自治会のその連絡協議会などでも、もう相談を始めているというようなことなんですけれども、何かその具体的な方策というものは打ち出されているんでしょうか。

総 務 課 長 これまで年1回のですね、三役の調整会議というのを開催しておったんですが、ことしから年2回にふやして、その辺のところを、要は担い手不足を含めた自治会の各課題についての協議する場を設けましょうということで、今、進めているところです。ただ、一度そういった課題、問題点は聞いてはおりますけれども、じゃあいざそれを、具体的にじゃあどういうふうな解決していくか

というところまでは、まだ至っておりません。

1 番 平 野      なかなか難しい問題なのでね、本当に集まってすぐに何かいいアイデアが出るというような、そんなものではないので、それも想像はつきますけれども、やはりそここのところで、私、今回この（１）番、（２）番のその自治会の問題と、それから（３）番で教育長が答えてくださった、それ以外の何というか、団体、住民活動の団体の問題を、今回ちょっと一緒に質問に上げさせていただいたのは、そういうちょっと意味もありまして、やはり自治会だけが先細るといことではないと思うんですよね。やはりいろんな団体がいろんな活動をしていて、常にそれが活発だということ、まずその土壌にあって、やっぱりその自然…自然にというか地域のことを考える。そしてやはり自治会のこともつながっていくという流れが、やっぱり望ましいのかなというふうに思いまして、それでこの今回、一緒にちょっと上げさせていただいています。

例えばPTAなどは学校行事とか学校だよりとか、いろんな手段で広報されているというようなことでしたけれども、それはあんまり、今、子供が学校にいない方にはあんまり伝わってないような感じもして、時々気をつけていると、PTAの行事、イベントで、一般でも参加できますみたいな書き方をされてるものが、おしらせ号とかかな、時々上がるんですが、そういうふうにして工夫はされているなと思うんですけども、なかなか地域の広がりとして、ちょっと広がってこないかなというところがあったりします。

PTAでやった学年というのも、同じ学年でやると割合と皆さん仲よくなって、その後、子供卒業してからも会ったり、飲み会やったりとか、何かすごいつながりはできてるなという感じがするんですが、それが何か一歩地域のほうに、ちょっとボランティアやってみようとか、何かちょっとそういう踏み出し方にはなかなかないというのが感じられるところかなと。ちょっと開成町のところなんか見に行くと、そういうPTAでもともと一緒だった学年が「おやじの会」とかやって、もちろん皆さん仕事あるけれども、休日使って何かボランティア活動したりとか、そういう話も聞いているんですが、そういうところがやっぱりちょっと地域に一歩踏み出すところが、まだまだ松田ではちょっと寂しいかなという感じがするんです。

やっぱり私、ずっとこのところ質問で上げてきたところが、何というのかな、この協働のまちづくりのためにやっぱり必要なのが、町民にやってくれ、やってくれと言うばかりではなくて、やっぱり情報提供から始まる、今の現状とか問題を、町のその方、全員というのは難しいかもしれないけど、なるべく多くの方にそういったものを共有していただくというのがまず根底に必要だというふうに思って、常にその視点で質問を上げているんですけども、やはりこの「はじめの一步」ですね。私もこの冊子見させていただいたんですが、確かに全部のいろんな団体、今、教育長がおっしゃったいろんなジャンルの団体が紹介、一遍に紹介されている、ボランティア団体も文化団体もスポーツ団体も。そういうのはすごく私もいいと思うんです。これ平成22年につくられたということなんですが、これ改訂の御予定とかはないんでしょうか。新しい情報という。

教 育 課 長 「はじめの一步」につきましては、平成22年度に刊行いたしまして、全戸配布をしたところでございます。内容としましては、松田の紹介とか、スポーツ団体、サークル団体、ボランティア団体、そういった団体から昔の行事、そういったものを網羅したものでございます。平成22年度に作成したときは、町で作成しまして、印刷を民間業者に出したということでございますので、そのデータは残っておりますので、データは今、この平成22年度ということで古いような内容になっております。こうしたせつかくある冊子ですので、見直しをしていきたいと思っております。

1 番 平 野 そのところはぜひ取り組んでいただきたいと思います。そしてやはりその冊子は、多分民間に発注してるということで、ちょっとね、お金もかかっているのかなって私、思ったんですが、例えばちょっと南足柄の例なんです、毎年それをやっている、いろんな団体を一遍に紹介する冊子を出してるんですが、印刷はもう多分普通に輪転機でやったのかなというような、もう紙も普通のこういう紙だし、そんなにお金をかけてないなという感じがします。さらにそれがPDFでホームページにも上がっているというのが、やっぱり一つすごいなと思ったところで、やはりネット環境にない方もまだまだいらっしゃるんで、紙ベースも重要なんですが、特に若い世代は今、何かないかなと思うと絶対検

索、ネットで検索するというのがまず最初にやることですので、そういうところをもう少し充実させてほしいんですけども、こういったインターネットへはお考えありませんか。

教 育 課 長 ただいまいただきました御意見なんですけど、せっかくあるデータですので、各種団体ともよく調整をした上で、載せていいのか載せていけないかといった問題もございます。そういった中で協議してまいって、よければ積極的なPRをしていきたいと思っております。

1 番 平 野 はい、ありがとうございます。ぜひ前向きに取り組んでいただければと思います。やはり、どうしてこのまとめた情報が必要かという、やっぱりちょっと時間的に余裕ができたなみたいなときに、自分が何をやりたいのかなというのがはっきりしてない状況では、ボランティア団体も文化団体もスポーツ団体も、本当に同じ可能性を持っていると思うので、できればそういうのを余りジャンルの垣根なく情報があるほうが絶対いいなと思うので、ぜひこのまとめた情報というのをお願いしたいと思うんですね。

あとその中でちょっとね、その（3）番の最後のほうには、道祖神のこともちょっと触れたんですが、前も1回ちょっと私、確認に、町のほうに確認に来たことあるんですけども、自治会と道祖神の区割りが違うところって意外とあるので、そういうのはどんなふうに把握されてるのかなと思って、1回聞きに来たことあるんですが、それはどんな感じなんでしょうか。そのときはちょっと把握はしてないというようなお答えを1回いただいているんですが、現状は今、どうでしょうか。

教 育 課 長 道祖神につきましては文化財のマップとか、そういった文化財保護委員さんの協力のもと存在していることはわかっておるんですが、どの自治会がどこの道祖神といったのは、ちょっと今、はっきりわかっておりませんので、またお調べしてお伝えしたいと思います。

1 番 平 野 はい、そうですね。道祖神の大きな、一番大きなイベント、1月のどんど焼きのところですね。やはりあれも大切な地域の行事だなというふうに思います。地域によっては日を動かさず平日にやっていたり、また別の地域では土・日にその動いたりして、なるべく若い世代が参加できるようにというような感



じでやってるところもあって、住んでる地区で若いお母さんたちが、ちょっと悩みで言われたのが、本当は私も参加したかったけど、うちの地区は14日で平日だったからだめだったんだよみたいなこと言われたことあったりして、その辺のところ少し融通きかせていただければ、若い人が地域に参加する一つの場になるなと思ったんですね。そこのところをどんど焼きの情報をどこかで紹介するということは、今のところやっていますか。

教 育 課 長 今、平野議員からお話がありましたとおり、道祖神につきましては、松田町については平日やったり、土曜日やったりということで、ばらばらな状況でございます。教育委員会としましては、道祖神に対しまして消防団がやはり警戒しますので、どこの場所で道祖神をやっているかというのはわかっておりますが、やはり自治会ごとの事情もございますので、まとめた日というのはちょっとこの場では答えることはできません。

1 番 平 野 やはり宗教行事だから政治と区別しているのかなという、ちょっとそんなところも気にはなってるんですが、若い世代が意外とね、このどんど焼きって気にしてくれているんですね。小さな子供は大きなたき火を見るのがとても好きだし、それからあと、若いお父さん世代ですね。やっぱりその、行けばお年寄りと一緒にちょっとした力仕事などを、自分が手を出して手伝えるというチャンスというふうに認識している人もいるようで、ちょっと知り合いの若いお父さんから、自分の地区のどんど焼きに行つてね、僕も片づけ手伝ったんだよねなんて言って、ちょっと誇らしげに言われたりしたので、本当それ一つの地域活動への、一つの入り口ってやっぱり捉えれば、本当にもうちょっと情報をうまくどこかに上げてもらって、若い世代がそこに入りやすい工夫が必要かなと思います。それはちょっとぜひ考えてほしいということで、ちょっと要望のところですね、お願いしたいんですけれども。

もう一度ちょっと（1）番、（2）番のほうに戻りますけれども、この（2）番のホームページのことなんですが、近隣の市町比べると一長一短かなという感じがして、松田町もこの自治会に関するページは割合としっかりと工夫されているような感じがします。一応地図もね、載っていましたし、自治会一覧とその、何というのかな、主な行事みたいなそういうところまで載ってい

ましたし、もうちょっと補足するとすれば、もう少しビジュアル、写真を入れたりして、もう少しこう、楽しそうな雰囲気、転入者の方にちょっと伝えていただくような工夫が、もう少しあればなというのは感じました。でも本当に近隣市町、いろんな工夫してる中で、松田も頑張っているなという感じはします。ぜひぜひそういうところをもうちょっと続けて努力をしていただきたいなと思うんですね。

先ほどもちょっとおっしゃってた、どうやったら入れるかというその方法の案内が、やっぱり少し少ないかなと思います。お住まいの地区の自治会長に言ってくださいみたいなことも書いてあったんですが、転入者にとってはそれさえちょっとわからないというのがありますので、ぜひ町のその代表のところ、連絡すればそっちに紹介されるとか、何かその手段を、ワンストップで本当にわかるように載せてほしいなというのがあります。あとは、転入届を受けた際に、何かそういう自治会に入りましょうみたいなパンフレットみたいなのは渡してるのでしょうか。

総務課長 今の転入してきてこられた方の、転入届を出されたときに、自治会に関する情報というのは特に出しておりません。

参事兼町民課長 ただいまの御質問にお答えいたします。暮らしのガイド等の御提供をさせていただいておりますので、ある程度の御案内はそちらを導入編としてお使いいただくことはできるかと思います。以上でございます。

1番平野 暮らしのガイドの一部に載っているという、そういう形ですね、はい。多分転入するときってすごく忙しいので、あんまりその、ぱっと渡しても、それを丁寧に読むという時間はあんまりないのかなという気がするんですね。これに関しては中井町、南足柄市が、自治会加入促進のチラシをPDFでアップしているんです。ほかのところはPDFにないけど、もしかしたらあるのかもしれないんですが、ぜひ、これPDFにしておいてもらえれば、たとえ町民課のほうで渡し損ねても、自治会長さんが、あ、新しい人が来たって思ったときに自分でそれ印刷して、ちょっとお渡しできるというメリットがあるので、意外とこのPDFにしておくというのはちょっといいのかなと私は思ったんですけどね。ちょっと中井町などのPDFのチラシ、参考にしていただければなと思う

んですが、ぜひその手間の前に転入届があったときに、そのチラシ1枚でも渡していただけると、すごくスムーズに導入されるかなと思いますので、そこはぜひよろしくお願いします。

あともう一つ、そのホームページのことで、もう一つお願いしたいのが、回覧板のPDF化なんですけれども、これ回覧板ってね、頻繁に回るのも、意外とちょっと手間がかかってしまうんですけれども、二世帯で住んでられるようなおうちだと、親世帯は割合と、あ、早く回さなきゃと思って持って行ってしまって、若い世代が見損ねてしまうというのが結構あって、PDFになってくれるといいなという声をちょっと聞いたことがあるんですが、その辺は御検討されるお気持ちありませんでしょうか。

総務課長 自治会の回覧のPDF化ということなんですけど、全体、その自治会の活動の全体を通して考えますと、やはり先ほど町長答弁したように、人口減少ですか少子化という問題をやっぱり考えていく中では、やはりこれから役場の仕事の、やはり守備範囲というのもやはり拡大していかなきゃいけないのかなというように思ってます。ですので、今、自治会とその行政との関係から、やはり一歩中に入ったところで、やはり協議していかなきゃいけないのかなというように思ってますので、今言われたそのPDF化も含めて、ホームページへの情報提供していくという分野も含めてですね、これからは自治会のほうの、今回三役協議会の調整会議ございますので、そういったところでしっかり話をさせていただいて、自治会独自で出されている回覧とかもございまして、それをじゃあどういふふうPDF化していくかというところの課題もありますと思いますので、そういったところも含めてですね、協議をさせていただければというふうに思います。

1番平野 とても前向きな御回答ありがとうございます。実はこれ山北町で、実に、実はもうやられていて、自治会限定のものまでやっているというふうな感じなんです。なので、ぜひちょっと調べていただいて、課題があれば課題を教えてください、ちょっと先行事例を少し検討…少しそういう先行事例を先に町としてちょっとね、それを得た状態で、その三役会議などでお話をしたいだけかなと思います。本当にこれは、そんな面倒くさいと思われるかも

しれないんですが、やっぱり若い世代の方に少しでも地域のことを情報をね、知ってもらってすごく大事なことなので、お願いしたいなというふうに思います。

ごめんなさい。もう一回ちょっと（1）番のほう、もう一度戻ってよろしいでしょうか。先ほども町からのその任せる仕事のこととかね、ちょっとその負担感がちょっとあるのではないかというような、一番最初にお答えがちょっとあったんですけども、そのことに関しては、その負担軽減とか、そういう方向性というのは具体的には何か出てるんですか。

総務課長 自治会との関係の中での方向性ということでは、今、先ほど来申し上げてますとおり、三役会議の中で調整をさせていただいているところでございます。具体的にやはり自治会長さんとですね、あと町がお願いしている行政協力委員というのが今、イコールの状態になってございます。そういったところで、行政協力委員さんとしてですね、町からいろいろなお願いをしています。広報の配達ですとか、あとは各種委員の推薦ですとか、そういったところでまた町の会議の出席ですとか、そういったところでかなり多忙な役割を担っていただいておりますので、そういったところはやはり先ほど申しましたとおり、行政と自治会がこういう関係だけ、今までのこういう関係だということではなくてですね、もう少し一歩踏み込んだ中に入っていくと、やはりそういったところは解決していかないのかなというふうに思いますので、もう少しひざを交えた中で話ができるような場を設けていくということも大事だと思っております。そういったところで、やはり課題とか問題点が出てくると思いますので、まずそこから洗い出しをさせていただきたいなというふうに思っております。

1番 平野 具体的なことは、まだちょっとという感じなのかなと思いますが、やはり担い手が減る、そして仕事が忙しいという、何か、本当にこれはちょっとどうにかしないと、というふうに思うんですね。やっぱり、地域のことをみんなでやっていくという、そういう部分の広い了解というのが、もう少し町全体で必要なかなと私は思います。誰かだけに、自治会長さんだけにとか、民生委員だけにとか、そういうふうな形で、今はちょっとそれで負担があって、引き受けにくいという方が多いのかなと思うので、それを、大きな了解を浸透させてい

って、そして少しずつ担えるような、何かそういうことでフォローしていくしかないのかなと思うんですね。そこを考えるとやっぱり、本当、情報共有、町の課題の共有というのがやっぱり大きなテーマとして出てくるのではないかなと思うんですね。そこのところは、1年半くらい前にちょっと一般質問させていただいたんですけども、やっぱり、例えば協議会、審議会などのいろいろな会議が行われているよということもお知らせして、そして傍聴できるものはスケジュールもお知らせしてという、そういうところがね、なかなかちょっとホームページ見ても進んでないかなというのが、ちょっと残念に思っているんですが、その取り組みはどのようなになっていますか。

参事兼政策推進課長 その辺はですね、今後は自治会ともよく協力をしてホームページのほうを作成してまいりたいと考えております。

1 番 平 野 前回の質問のときも、すぐやると言われたので、すごい楽しみにしていたんですけども、ぜひ急いでやっていただきたい。教育委員会もそうですよね、月1回、定例のあれは、あのときお答えの中で、傍聴ができるかどうかをまず精査して、できるものから順にスケジュールをアップするみたいなお答えがあったんですが、教育委員会はあれ、ずっと傍聴できるはずなんですが、いつまでたってもスケジュールがアップされずに、私はいつも建物の庁舎のこのこのガラスの掲示板のぞいて、あ、今月はいついつだとか思いながら見ているんですね。あれは、本当にもう、すぐにでもアップできる。あのカレンダーにしてくださいっただよですね、あの後ね。カレンダーから探すというアイコンができて、そこを押すと、日にちがばあっと出て、そこに情報が入るとというのがね、もうそこはやっていただいて、これはよかったなと思ったんですが、その中にやっぱり傍聴できる議会関係…議会というか審議会、協議会関係の情報はまだ上がってこなくて、やっぱりそのところをもうちょっとぜひ、教育委員会もぜひね、それは、傍聴できるものは早く政策課のほうにその情報を、毎月毎月決まったら、すぐに、今度はいついつだよというのをすぐに伝えていただいて、公開してほしいなと思うんですが、お願いできますか。

参事兼政策推進課長 それは、各所管で上げられるようにはできているんですけども、ちょっと、私も細部を考えたときに、カレンダーのところにやるんですけども、その先のペ

ージがないと、ちょっとカレンダーのとこだけに、いついつ何の会議がありますよというだけに、ちょっと載らないような仕組みになっているので、それをちょっと大至急調整させていただいて、タイトルだけでも上げるようにしたいとは思っています。少しちょっと時間をいただけますか、申しわけございません。

1 番 平 野 では、カレンダーからリンクするものでないと、今のとこ上げられないという、そういうことなんですね。じゃあ、ぜひ、そこは簡単なリンクでいいと思うので、あとは、希望者は問い合わせ先みたいにしておけばいいことだと思うので、ぜひ、急いでお願いいたします。

やっぱり、こういった、いろんな情報共有から、本当に協働のまちづくりって始まっていくと思いますので、やっぱり、何にも情報がないところで地域活動をしてくださいとか、町の協力してくださいと言っても、気持ちとして全然動かないと思うんですね、町民の方は。今回、投票率も落っこちてしまったのを見ると、やっぱり町への関心というのが徐々に何か減っているのかなと、こんな小さい町でも、それを感じてしまったので、ぜひそこは、いろんな方に、いろんなアプローチで問題が共有されるように、その一人一人が、全部を把握できなくてもいいんだけど、自分はこの問題気にしているんだよというのが、きっと町民一人一人あると思うので、そういうところからでも地域問題にアプローチできるような道筋、その仕組みをちょっと整えていただけないと協働が始まらないかなと。自治基本条例も、そうすると絵にかいた餅に終わってしまいますので、ぜひ、そこの仕組みを整えていただきたいなというふうに思います。これは要望で終わりたいと思います。どうもありがとうございます。

議 長 以上で、受付番号第2号、平野由里子君の一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。休憩中に昼食をとっていただき、午後1時から再開いたします。  
(11時21分)